

2024年6月吉日

需要家各位

静岡県東部生コンクリート販売協同組合

理事長 志村 栄一

「戻りコンクリート（残コン）削減へのご協力をお願い」

謹啓 向暑の候、貴社益々のご清栄のことと御慶び申し上げます。また平素から格別のお引き立てを賜り誠に有難うございます。

さて持続可能な社会に向けて Co2 削減への取り組みが求められる中、戻りコンクリート（以下：残コン）の問題がクローズアップされています。解体工事などで発生するコンクリート塊とは違い、残コンはそのほとんどを産業廃棄物として処理するしかないのが現状です。

当組合においては 2022 年度より残コンの集計を行っており、その累計は以下のようになります。

2022 年度 残コン累計 = 12,320 m³ (全体出荷の約 3.1%)

2023 年度 残コン累計 = 12,083 m³ (全体出荷の約 3.0%)

生コン車の積載量を仮に 4.0 m³ で計算すると、年間で約 3,050 台分の生コンクリートが未使用のまま廃棄されている計算となり、生コンクリート原材料だけでなく輸送にかかる燃料なども無駄に消費されている事となります。また産業廃棄物処理業者の減少や処理場の受け入れ量にも限度があるため、今後残コン処理に関しては益々対応が難しくなります。

現状、全国的には残コン処理有償化の動きもありますが、まずは残コン削減に向けての現場様レベルでのご協力を賜りたく思います。各生コンクリート工場との連絡を密にして頂き、必要数量の正確な発注をお願い致します。

残コン削減に向けての取り組みや情報発信など引き続き取り組んで参りますが、まずは窮状をご理解頂きますことを伏してお願い申し上げます。

謹白